

第3章

問題 3-42 特性方程式は

$$\lambda^2 - 2 = 0$$

となりますので、 $\lambda = \pm\sqrt{2}$ であることがわかります。よって、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x = C_1 e^{\sqrt{2}t} + C_2 e^{-\sqrt{2}t}$$

問題 3-43 特性方程式は

$$\lambda^2 + \lambda - 2 = 0$$

となります。因数分解すれば、 $(\lambda+2)(\lambda-1) = 0$ となるので、 $\lambda = -2, 1$ となり、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x = C_1 e^{-2t} + C_2 e^t$$

問題 3-44 特性方程式は

$$\lambda^3 + 6\lambda^2 + 11\lambda + 6 = 0$$

となります。因数分解して、 $(\lambda+1)(\lambda+2)(\lambda+3) = 0$ となるので、 $\lambda = -1, -2, -3$ であることがわかります。よって、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x = C_1 e^{-t} + C_2 e^{-2t} + C_3 e^{-3t}$$

問題 3-45 特性方程式は

$$\lambda^2 + \lambda = 0$$

となり、 $\lambda = 0, -1$ であることがわかります。よって、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x = C_1 e^{0t} + C_2 e^{-t} = C_1 + C_2 e^{-t}$$

問題 3-46 特性方程式は

$$\lambda^4 + 5\lambda^2 + 6 = 0$$

となります。因数分解して、 $(\lambda^2 + 2)(\lambda^2 + 3) = 0$ となるので、 $\lambda = \pm\sqrt{2}i, \pm\sqrt{3}i$ であることがわかります。よって、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x = C_1 \cos \sqrt{2}t + C_2 \sin \sqrt{2}t + C_3 \cos \sqrt{3}t + C_4 \sin \sqrt{3}t$$

問題 3-47 特性方程式は

$$\lambda^3 + 3\lambda^2 + 3\lambda + 1 = (\lambda + 1)^3 = 0$$

ですので、 $\lambda = -1$ が 3 重解になります。よって、微分方程式の解は、つぎのようになります。

$$x(t) = (C_0 + C_1 t + C_2 t^2) e^{-t}$$

問題 3-48 特性方程式は

$$\lambda^2 + 7\lambda + 10 = (\lambda + 2)(\lambda + 5) = 0$$

ですから、 $\lambda = -2, -5$ が解になります。よって、微分方程式の解は、つぎのようになります。

$$x(t) = C_1 e^{-2t} + C_2 e^{-5t}$$

問題 3-49 特性方程式は

$$\lambda^2 + \lambda + 1 = 0$$

ですから、 $\lambda = \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2}$ が根になります。よって、微分方程式の解は、つぎのようになります。

$$x(t) = e^{-\frac{1}{2}t} \left(C_1 \cos \frac{\sqrt{3}}{2} t + C_2 \sin \frac{\sqrt{3}}{2} t \right)$$

問題 3-50 特性方程式は

$$\lambda^2 + a\lambda + 1 = 0$$

です。判別式は、 $a^2 - 4$ ですから、 $a^2 > 4$ のとき、すなわち、 $|a| > 2$ のときは、 $\lambda = \frac{-a \pm \sqrt{a^2 - 4}}{2}$ であり、解は、つぎのようになります。

$$x(t) = C_1 e^{\frac{-a + \sqrt{a^2 - 4}}{2} t} + C_2 e^{\frac{-a - \sqrt{a^2 - 4}}{2} t}$$

$a^2 = 4$ のとき、すなわち、 $a = \pm 2$ のときは、 $\lambda = -a/2$ (2 重根) であり、解は

$$x(t) = (C_0 + C_1 t) e^{-\frac{a}{2} t}$$

となります。 $a^2 < 4$ のとき、 $|a| < 2$ のときは、 $\lambda = \frac{-a \pm \sqrt{4 - a^2}i}{2}$ であり、解は、つぎのようになります。

$$x(t) = e^{-\frac{a}{2} t} \left(C_1 \cos \frac{\sqrt{4 - a^2}}{2} t + C_2 \sin \frac{\sqrt{4 - a^2}}{2} t \right)$$

問題 3-51 特性方程式は

$$\lambda^4 - 1 = (\lambda + 1)(\lambda - 1)(\lambda + i)(\lambda - i) = 0$$

ですから、 $\lambda = \pm 1, \pm i$ であり、解は、つぎのようになります。

$$x(t) = C_1 e^{-t} + C_2 e^t + C_3 \cos t + C_4 \sin t$$

問題 3-52 特性方程式は

$$\lambda^4 + 7\lambda^3 + 17\lambda^2 + 17\lambda + 6 = (\lambda + 3)(\lambda + 2)(\lambda + 1)^2 = 0$$

ですから、 $\lambda = -3, -2, -1$ (2重根) であり、解は、つぎのようになります。

$$x(t) = C_1 e^{-3t} + C_2 e^{-2t} + (C_3 + C_4 t) e^{-t}$$

問題 3-53 特性方程式は

$$\lambda^4 + 6\lambda^3 + 13\lambda^2 + 12\lambda + 4 = (\lambda + 2)^2(\lambda + 1)^2 = 0$$

ですから、 $\lambda = -2, -1$ (ともに2重根) であり、解は、つぎのようになります。

$$x(t) = (C_1 + C_2 t) e^{-2t} + (C_3 + C_4 t) e^{-t}$$

問題 3-54 特性方程式は、 $\lambda^2 + 4\lambda + 5 = 0$ となるので、 $\lambda = -2 \pm i$ となります。

よって、斉次方程式の解は

$$w(t) = e^{-2t}(C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

になります。 $P(-2) = (-2)^2 + 4 \times (-2) + 5 = 1 \neq 0$ ですから

$$x_0(t) = e^{-2t}$$

となり、もとの微分方程式の解は

$$x(t) = e^{-2t} + e^{-2t}(C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

となります。

問題 3-55 特性方程式は、 $\lambda^3 + 3\lambda^2 + 3\lambda + 1 = (\lambda + 1)^3 = 0$ となるので、 $\lambda = -1$

が3重解になっています。よって、斉次方程式の解は

$$w(t) = (C_0 + C_1 t + C_2 t^2) e^{-t}$$

になります。 $P(2) = (2 + 1)^2 = 27 \neq 0$ ですから

$$x_0(t) = \frac{1}{27} e^{2t}$$

となり、もとの微分方程式の解は、つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{27} e^{2t} + (C_0 + C_1 t + C_2 t^2) e^{-t}$$

問題 3-56 $P(2) = 2^3 = 8$, $P'(2) = 3 \times 2^2 = 12$, $P''(2) = 6 \times 2 = 12$, $P'''(x) = 6$ となりますので, $P(x)$ の $x = 2$ のまわりでのテイラー展開は, つぎのようになります。

$$\begin{aligned} P(x) &= x^3 \\ &= P(2) + P'(2)(x-2) + \frac{P''(2)}{2}(x-2)^2 + \frac{P'''(2)}{6}(x-2)^3 \\ &= 8 + 12(x-2) + 6(x-2)^2 + (x-2)^3 \end{aligned}$$

問題 3-57 特性方程式は $P(\lambda) = (\lambda+1)^3 = 0$ となりますから, 齊次方程式の解は, つぎのようになります。

$$w(t) = (C_0 + C_1 t + C_2 t^2)e^{-t}$$

しかし, 非齊次項の指数部の t の係数 -1 は, 特性方程式の 3 重解になっていますので

$$x_0(t) = \frac{1}{P'''(-1)} t^3 e^{-t} = \frac{1}{6} t^3 e^{-t}$$

となり, もとの微分方程式の解は, つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{6} t^3 e^{-t} + (C_0 + C_1 t + C_2 t^2) e^{-t}$$

問題 3-58 特性方程式は, $\lambda^3 + 4\lambda^2 + 5\lambda + 2 = (\lambda+2)(\lambda+1)^2 = 0$ となりますので, $\lambda = -1$ が 2 重解になっています。よって, 齊次方程式の解は, つぎのようになります。

$$w(t) = C_1 e^{-2t} + (C_2 + C_3 t) e^{-t}$$

非齊次項の指数部の t の係数 -1 は, 特性方程式の 2 重解になっているので

$$x_0(t) = \frac{1}{P''(-1)} t^2 e^{-t} = \frac{1}{2} t^2 e^{-t}$$

となり, もとの微分方程式の解は, つぎのようになることがわかります。

$$x(t) = \frac{1}{2} t^2 e^{-t} + C_1 e^{-2t} + (C_2 + C_3 t) e^{-t}$$

問題 3-59 すでに例題 3.6 で齊次方程式は解いてありますから

$$w(t) = C_1 \cos \omega t + C_2 \sin \omega t$$

です。 $P(i\omega) = 0$, $P'(i\omega) = 2i\omega \neq 0$ となるので

$$\begin{aligned} x_0(t) &= \operatorname{Re} \left(\frac{1}{P'(i\omega)} t e^{i\omega t} \right) \\ &= \operatorname{Re} \left(\frac{1}{2i\omega} t e^{i\omega t} \right) \\ &= \operatorname{Re} \left(\frac{t}{2i\omega} (\cos \omega t + i \sin \omega t) \right) \\ &= \frac{1}{2\omega} t \sin \omega t \end{aligned}$$

つまり、一般解は、つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{2\omega} t \sin \omega t + C_1 \cos \omega t + C_2 \sin \omega t$$

問題 3-60 齊次方程式は例題 3.7 と同じ単振動の方程式ですから、特性方程式は、 $P(\lambda) = \lambda^2 + 1 = 0$ であり、齊次方程式の解は、 $w(t) = C_1 \cos t + C_2 \sin t$ となります。非齊次項をつぎのように指数関数の虚部とみなします。

$$e^{-t} \sin t = e^{-t} \operatorname{Im}(e^{it}) = \operatorname{Im}(e^{(-1+i)t})$$

となるので $P(-1+i) = (-1+i)^2 + 1 = 1 - 2i \neq 0$ から

$$\begin{aligned} x_0(t) &= \operatorname{Im} \left(\frac{1}{P(-1+i)} e^{(-1+i)t} \right) \\ &= \operatorname{Im} \left(\frac{1}{1-2i} e^{(-1+i)t} \right) \\ &= \frac{e^{-t}}{5} \operatorname{Im} ((\cos t - 2 \sin t) + i(\sin t + 2 \cos t)) \\ &= \frac{e^{-t}}{5} (\sin t + 2 \cos t) \end{aligned}$$

よって、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{e^{-t}}{5} (\sin t + 2 \cos t) + C_1 \cos t + C_2 \sin t$$

問題 3-61 特性多項式 $P(\lambda) = \lambda^2 + 3\lambda + 2 = (\lambda+1)(\lambda+2) = 0$ の解は、 $\lambda = -1, -2$ ですから、齊次方程式の解は

$$w(t) = C_1 e^{-t} + C_2 e^{-2t}$$

となります。 $x_0(t) = at^2 + bt + c$ とすると

$$\begin{aligned} x_0'' + 3x_0' + 2x_0 &= 2a + 3(2at + b) + 2(at^2 + bt + c) \\ &= 2at^2 + (6a + 2b)t + (2a + 3b + 2c) \end{aligned}$$

となるので、これが恒等的に t^2 に一致するには、 $2a = 1$, $6a + 2b = 0$, $2a + 3b + 2c = 0$ となるように、 a, b, c を取ればよいことになります。この連立方程式を解くと $a = \frac{1}{2}$, $b = -\frac{3}{2}$, $c = \frac{7}{4}$ となります。よって

$$x_0(t) = \frac{1}{2} t^2 - \frac{3}{2} t + \frac{7}{4}$$

となるので、求める一般解は、つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{2} t^2 - \frac{3}{2} t + \frac{7}{4} + C_1 e^{-t} + C_2 e^{-2t}$$

問題 3-62 周期 $T = 1$ ですので、 $T = 2\pi \sqrt{\frac{l}{g}}$ より

$$l = g \left(\frac{1}{2\pi} \right)^2 \approx 0.2482368999 \dots$$

となります。 l は、約 24.8 cm になります。

問題 3-63

$$\begin{aligned} \frac{1}{Z} &= \frac{1}{R + i\omega L} + \frac{1}{\frac{1}{i\omega C}} \\ &= \frac{1}{R + i\omega L} + i\omega C \\ &= \frac{1 + i\omega C(R + i\omega L)}{R + i\omega L} \\ &= \frac{1 - \omega^2 LC + i\omega CR}{R + i\omega L} \\ &= \frac{R}{R^2 + \omega^2 L^2} + i \left(\omega C - \frac{\omega L}{R^2 + \omega^2 L^2} \right) \end{aligned}$$

となります。虚部が 0 になる周波数 ω_0 が共振周波数で、つぎのようになります。

$$\omega_0 = \sqrt{\frac{1}{LC} - \frac{R^2}{L^2}}$$

問題 3-64

特性方程式は、 $P(\lambda) = \lambda^2 - 5\lambda + 6 = (\lambda - 2)(\lambda - 3) = 0$ となりますので、 $\lambda = 2, 3$ です。よって、齊次方程式の解は

$$w(t) = C_1 e^{2t} + C_2 e^{3t}$$

となります。問題は $x_0(t)$ ですが、これはつぎのように考えればよいのです。

$$\begin{aligned} x_1'' - 5x_1' + 6x_1 &= e^t \\ x_2'' - 5x_2' + 6x_2 &= -e^{2t} \end{aligned}$$

を満たす x_1, x_2 を見つけて、 $x_0 = x_1 + x_2$ とすれば、これが目的の解になっています。 $P(1) = 2 \neq 0$, $P(2) = 0$, $P'(2) = -1 \neq 0$ となるので

$$\begin{aligned} x_1(t) &= \frac{1}{P(1)} e^t = \frac{1}{2} e^t \\ x_2(t) &= -\frac{1}{P'(2)} t e^{2t} = t e^{2t} \end{aligned}$$

となり

$$x_0(t) = x_1(t) + x_2(t) = \frac{1}{2} e^t + t e^{2t}$$

が得られます。よって、求める一般解はつぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{2} e^t + t e^{2t} + C_1 e^{2t} + C_2 e^{3t}$$

問題 3-65

特性方程式は、 $P(\lambda) = \lambda^2 + 2\lambda + 2 = 0$ なので、 $\lambda = -1 \pm i$ となりますから、齊次方程式の解は、つぎのようになります。

$$w(t) = e^{-t}(C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

$e^t \cos t = \operatorname{Re}(e^{(1+i)t})$ となること, $P(1+i) = (1+i)^2 + 2(1+i) + 2 = 2i + 2 + 2i + 2 = 4(1+i)$ を利用して

$$\begin{aligned} x_0(t) &= \operatorname{Re} \left(\frac{1}{P(1+i)} e^{(1+i)t} \right) \\ &= e^t \operatorname{Re} \left(\frac{1}{4(1+i)} e^{it} \right) \\ &= \frac{e^t}{8} \operatorname{Re} ((1-i)(\cos t + i \sin t)) \\ &= \frac{e^t}{8} \operatorname{Re} ((1-i)(\cos t + i \sin t)) \\ &= \frac{e^t}{8} \operatorname{Re} ((\cos t + \sin t) + i(\sin t - \cos t)) \\ &= \frac{e^t}{8} (\cos t + \sin t) \end{aligned}$$

が得られます。よって, 求める一般解はつぎのようになります。

$$x(t) = \frac{e^t}{8} (\cos t + \sin t) + e^{-t} (C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

問題 3-66 左辺は問題 3-65 と同じですので, 齊次方程式の解は, つぎのようになります。

$$w(t) = e^{-t} (C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

$e^{-t} \cos t = \operatorname{Re}(e^{(-1+i)t})$ となること, $P(-1+i) = 0$, $P'(-1+i) = 2(-1+i) + 2 = 2i$ を利用して

$$\begin{aligned} x_0(t) &= \operatorname{Re} \left(\frac{1}{P'(-1+i)} t e^{(-1+i)t} \right) \\ &= t e^{-t} \operatorname{Re} \left(\frac{1}{2i} e^{it} \right) \\ &= t e^{-t} \operatorname{Re} \left(\frac{1}{2i} (\cos t + i \sin t) \right) \\ &= \frac{1}{2} t e^{-t} \sin t \end{aligned}$$

が得られます。よって, 求める一般解はつぎのようになります。

$$x(t) = \frac{1}{2} t e^{-t} \sin t + e^{-t} (C_1 \cos t + C_2 \sin t)$$

問題 3-67 特性方程式は, $P(\lambda) = \lambda^2 + 2\lambda - 1 = 0$ なので, $\lambda = -1 \pm \sqrt{2}$ となりますから, 齊次方程式の解は, つぎのようになります。

$$w(t) = C_1 e^{(-1+\sqrt{2})t} + C_2 e^{(-1-\sqrt{2})t}$$

$x_0(t) = at^2 + bt + c$ とおいて係数を求めます。

$$\begin{aligned} x_0'' + 2x_0' - x_0 &= 2a + 2(2at + b) - (at^2 + bt + c) \\ &= -at^2 + (4a - b)t + (2a + 2b - c) \end{aligned}$$

これが t^2 に恒等的に一致するには、 $-a = 1$, $4a - b = 0$, $2a + 2b - c = 0$ とならなければなりませんので、 $a = -1$, $b = -4$, $c = -10$ となります。つまり

$$x_0(t) = -t^2 - 4t - 10$$

となりますので、求める一般解はつぎのようになります。

$$x(t) = -t^2 - 4t - 10 + C_1 e^{(-1+\sqrt{2})t} + C_2 e^{(-1-\sqrt{2})t}$$

問題 3-68 特性方程式は、 $P(\lambda) = \lambda^2 + 2\lambda + 4 = 0$ なので、 $\lambda = -1 \pm \sqrt{3}i$ となりますから、斉次方程式の解はつぎのようになります。

$$w(t) = e^{-t}(C_1 \cos \sqrt{3}t + C_2 \sin \sqrt{3}t)$$

問題は x_0 をどう求めるかです。 $x_0(t) = z(t)e^{-t}$ とおいてみることにしましょう。

$$x_0'' + 2x_0' + 4x_0 = (z''(t) + 3z(t))e^{-t} = te^{-t}$$

となります。よって

$$z''(t) + 3z(t) = t$$

となるように $z(t)$ を決めればよいのですが、 $z(t) = \frac{t}{3}$ とすればよいことがわかりますので

$$x_0(t) = \frac{t}{3}e^{-t}$$

となります。一般解はつぎのようになることがわかります。

$$x(t) = \frac{t}{3}e^{-t} + e^{-t}(C_1 \cos \sqrt{3}t + C_2 \sin \sqrt{3}t)$$

問題 3-69 特性方程式は、 $P(\lambda) = \lambda^2 + 2\lambda + 1 = (\lambda + 1)^2 = 0$ ですので、 $\lambda = -1$ (二重根) となります。よって、斉次方程式の解はつぎのようになります。

$$w(t) = (C_1 + C_2 t)e^{-t}$$

問題は x_0 をどう求めるかですが、 $x_0(t) = z(t)e^{-t}$ とおいてみることにしましょう。

$$x_0'' + 2x_0' + x_0 = z''(t)e^{-t} = te^{-t}$$

となります。よって

$$z''(t) = t$$

となるように $z(t)$ を決めればよいのですが、2 回積分して、 $z(t) = \frac{t^3}{6}$ とすればよいことがわかりますので

$$x_0(t) = \frac{t^3}{6}e^{-t}$$

となります。一般解は、つぎのようになります。

$$x(t) = \frac{t^3}{6}e^{-t} + (C_1 + C_2 t)e^{-t}$$

問題 3-70 特性方程式は、 $\lambda^3 + 3\lambda^2 + 3\lambda + 1 = (\lambda + 1)^3 = 0$ となるので、 $\lambda = -1$ が 3 重解になっています。よって、斉次方程式の解はつぎのようになります。

$$w(t) = (C_0 + C_1t + C_2t^2)e^{-t}$$

問題は x_0 をどう求めるかですが、 $P(D) = (D + 1)^3$ です。で、 $x_0(t) = z(t)e^{-t}$ とおくと

$$(D + 1)^3 x_0 = z'''(t)e^{-t}$$

となります。これが te^{-t} になるように z を選ばないので、 $z'''(t) = t$ を 3 回積分して、 $z(t) = \frac{t^4}{24}$ となります。よって

$$x_0(t) = \frac{t^4}{24}e^{-t}$$

となります。求める一般解はつぎのようになることがわかります。

$$x(t) = \frac{t^4}{24}e^{-t} + (C_0 + C_1t + C_2t^2)e^{-t}$$